



お食事処

市外局番 (0225)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| ④ 三浦屋 68-2003 | ⑤ 木里口 69-2181 |
| ⑥ リーちゃん食堂 68-3010 | ⑦ 津山食堂 69-2815 |
| ⑧ 寿司義 68-2435 | ⑨ キッチンカフェ・7 090-2029-4458 |
| ⑩ お寺 Café 夢想庵 68-2079 | ⑪ さ蔵 69-2401 |

登米市津山町

町めぐり マップ

登米市津山町

町めぐりマップ

①

黄牛山音聲寺

聖観世音菩薩を本尊とする。初め天台宗として開山したが1289年、総持寺の門裔竺源超西が荒廃した当寺を再興し、黄牛山音聲寺と称して曹洞宗に改めた。脇道を登ると福壽観世音菩薩があり、北上川や柳津の町が望める。



②

鈴木安右衛門解剖記念碑

1888年の建立。肝臓ジストマの病原を極めるため、安右衛門が進んで死後の解剖を申し入れ、病原発見の端を於くし当時の医学予防に絶大な貢献をした。



③

麻崎神社

大山祇神、月読命、保食命を祀る。1922年、北上川改修工事のとき、柳津宮下田から現在地に遷宮する。終戦まで旧柳津町の町社であった。



④

柳津船着き場

その昔、豊里町鵜波と柳津を渡し船が往復していた。今は北上川にボートや水上バイクなどが着水できる場所になっている。



⑤

北上川河川歴史公園

登米市と石巻市の市境に位置し、新北上川と旧北上川が分流する人工的な中州にある公園で、北上川の治水の歴史が学べる。展望台や鵜波洗堰、脇谷洗堰・閘門などの歴史的な建造物がある。



⑥

金峰山福田寺

釈迦牟尼仏を本尊とする。往時は真言宗だったが、1549年に磐城の竜門寺の台巖寿桃が、曹洞宗に改宗開山した。旧仙台藩柳津で幕藩体制時代の最後の殿様を勤めた布施備前と家臣達の墓があり、山門に南北朝時代の板碑、境内に高屋観音などがある。



⑦

四良次延命地藏尊堂

1729年、弱冠18歳の農民四良次は、村の入合権を守るため仙台藩に直訴して村民を救ったが、斬罪の身となった。村民は延命地藏尊として福田寺境内に祀る。



⑧

おくの細道の碑

1689年、松尾芭蕉はわが郷土の土を踏み、岩手県平泉へと向かったとされ、その足跡を永く後世に伝えようと1973年におくの細道の碑が建てられた。



⑨

米谷山明耕院

阿弥陀如来を本尊とする。昔は天台宗だったが、1580年に志津川大雄寺の真庵秀天が中興開山して曹洞宗に改めた。境内には水子供養地藏菩薩を安置する。



⑩

イナイリュウの化石発見地

1939年夏、道路拡張工事中、三畳紀の稲井層群と呼ばれる地層から、恐竜時代よりも古いイナイリュウの化石が発見された。全長130cm、幅およそ30cm。この化石は戦時中に行方不明となってしまう今は見ることができない。



⑪

柳津虚空蔵尊

日本三大虚空蔵尊のひとつで726年に行基が虚空蔵菩薩を刻んだことに縁起し、御本尊の脇に従う大黒天と毘沙門天は弘法大師の作と伝えられる。国道脇入口に木造の大鳥居があり、鵜橋・天然記念物の多数の古木・七不思議・寺カフェなどがある。境内全域が三陸復興国立公園に指定されている。



⑫

阿弥陀三尊来迎図像板碑

碑の高さ101cm、幅50cm。1322年建立の追善供養碑と思われる。県内図像板碑九基の中の一つ。中央に阿弥陀如来、左右に観音菩薩と勢至菩薩が刻まれている。



⑬

大日如来

1119年創建とされている。また一説には、かつての黄牛村鎮守黄牛神社であったのではないかと推定されている。子どもの安全を守る如来さまとして信仰されてきた。



⑭

薬師如来

1669年邑主・高屋喜庵の氏神並び地区の守護仏として歓請した。人々の病患を救い災難を取り除くという仏である。高さ約二尺の木造座像は特に子宝・眼病の仏さまとしてその信仰は遠い地方まで及ぶ。



⑮

道の駅つやま もくもくランド

1982年にもくもくハウスとしてオープンし、その後ランドなどが完成し、1994年に道の駅に指定される。木工芸品展示・販売や地元の新鮮な農林産物が見える産直・食事処があり、公園では大型木製遊具が無料で遊べる



⑯

貫船神社

この地域の人々は、昔京都より来たとされている。桂の木が祠のそばにあり、その根元から沸く水が眼病に効くと言われていた。



⑰

白魚山大徳寺

釈迦牟尼仏を本尊とする。昔は真言宗の道場で明王山金剛寺と号したが1504年に当横山邑館主男沢蔵人が開基となり禅刹として再建し、竹甫慶玉が曹洞宗に改めた。伊達家から代々御墨付を賜る。



⑱

横山不動尊

日本三不動のひとつで、堂内には弘法大師の御作といわれる高さ約4.8mの木造の不動明王が安置され、その胎内には黄金の尊像が納められている。この像は保元の頃（1156～1158年）百済国から渡来したもの。境内全域が三陸復興国立公園に指定され、青銅五重塔・ウグイ生息池などがある。



⑲

上の山遊歩道

横山不動尊から上の山の宇南のイチヨウまでの4キロの遊歩道。途中には横山不動尊本宮やその昔出羽三山から分祠した月山・湯殿山・羽黒山をお参りすることができ、自然と親しみながら歴史が学べるコース。



⑳

横山神社（旧観音堂）

807年、坂上田村麻呂将軍によって夷賊を征伐したとき、観音堂を建てたのが始まりとされている。木造観音像が祀られてあったが、明治維新新政府によって北沢村の愛宕神社を併合して横山神社となる。現在の社殿は、山火事で長谷寺とともに焼失し1769年に再建されたと棟札にある。



㉑

舎那山長谷寺

十一面観音を本尊とする。もと天台宗南台山天称寺と号したが、1319年に至り本山総持寺二世我山の徒弟、竺源超西が再興し曹洞宗長谷寺と改めて開山した。



㉒

伊達小次郎君の墓

伊達政宗公の手討ちを受けた実弟・小次郎君の墓。長谷寺を菩提寺として、その南の右年山山頂にある。また、その墓所から南に下った中腹に、小次郎のお守役で殉死した小原縫殿之助の墓が建っている。



㉓

寺倉の板碑群

寺倉から大畑に通じる町道造成の際、袋屋敷跡と思われる地から南北朝期末の板碑12基が発掘された。町内でこれだけまとまって発見されたのは、板碑調査の上で貴重である。



㉔

大萱沢溪流公園

近くに沢が流れていて自然の中でデイキャンプが楽しめます。水道、トイレも完備されている。



㉕

翁倉山

登米市（津山町）・石巻市（北上町）にまたがる登米市で一番高い山、標高531.4mで北は南三陸から気仙沼、南は北上川河口、金華山、西は登米市が眺望できる。イヌワシの生息地だったが現在は確認できていない。



発行：津山地域振興会（津山公民館内）
宮城県登米市津山町横山字本町24番地
TEL 0225-69-2234